

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成22年度第13回（定例会）

署名人 金城真徳

委員長 田端温代

開催日時 平成22年10月8日（金）

開会 午前10時00分

閉会 午後 2時30分

開催場所 那覇市教育委員会 第1会議室

出席委員 田端温代委員長、有銘寛之委員、金城真徳委員、城間勝委員、城間幹子教育長

議 案

第25号 平成22年度那覇市一般会計補正予算（12月補正）に関する意見の申し出について
（幼稚園関係分）

第26号 平成22年度那覇市一般会計補正予算（12月補正）に関する意見の申し出について
（壺屋焼物博物館関係分）

第27号 平成22年度那覇市一般会計補正予算（12月補正）に関する意見の申し出について

報 告

- ・ 平成22年度那覇市一般会計補正予算（12月補正）に関する要求について
- ・ 平成22年度那覇市一般会計補正予算（9月補正）の確定について

協 議

- ・ 那覇市立学校適正配置計画素案の策定について（継続審議）

出席職員

新城和範生涯学習部長、盛島明秀学校教育部長、澤岷郁子こどもみらい部長

佐久川馨生涯学習部副部長、屋良朝秀学校教育部副部長、宮城實こども政策課長

東恩納隆栄総務課長、森田浩次学務課長、我謝幸男博物館長、上原秀人総合青少年課長

伊禮弘匡総務課副参事、仲程直毅総務課副参事、神谷乗治総合青少年課副参事

根間秀夫総務課副参事、田端睦子学務課主幹、高里浩博物館主幹

安次嶺博志学務課主査、富名腰史之こども政策課主査、金城涼子博物館主査

我謝昭子総務課主任主事

会議録作成 仲間稔総務課主査

田端委員長　　ただいまから平成22年度第13回教育委員会会議定例会を開催いたします。
本日の会議録署名は金城委員にお願いいたします。

議案第25号「平成22年度那覇市一般会計補正予算(12月補正)に関する意見の
申し出について(幼稚園関係分)」説明をお願いします。

澤岨部長　　提案説明

宮城課長　　説明

田端委員長　　この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

城間委員　　沖縄県市町村磁器探査支援事業補助金というのは、どういう内容で、毎年あるの
かないのか教えてください。

宮城課長　　新都心第2幼稚園新築工事で不発弾がないかどうか調査します。これは毎年、必ず
しもあるという事業ではありません。今回、那覇市の場合は当初予算の中で見込み
がつかないということがあって市債という形になっておりました。

田端委員長　　よろしいでしょうか。では、議案第25号「平成22年度那覇市一般会計補正予
算(12月補正)に関する意見の申し出について(幼稚園関係分)」原案どおり決定して
よろしいですか。

全 員　　異議なし

田端委員長　　議案第25号「平成22年度那覇市一般会計補正予算(12月補正)に関する意見の
申し出について(幼稚園関係分)」議決確定します。続きまして議案第26号「平
成22年度那覇市一般会計補正予算(12月補正)に関する意見の申し出について(壺
屋焼物博物館関係分)」説明をお願いします。

我謝館長　　提案・説明

田端委員長　　この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

有銘委員　　断熱というのは、ピロティの部分のガラスの外側、外階段を含めて屋上エリアの
断熱ですか。

高里主幹　　施設の上の方の天井、屋上部分がありまして、その部分の断熱になります。

有銘委員　　業務委託に関して、清掃警備部分も含めて、毎年入札という形になるのか。

我謝館長　　基本的には、毎年、指名競争入札です。3月下旬に入札を行います。

有銘委員　　あと1件、確認です。毎年、入札ということですが、その良し悪しは全然関係な
く、業者というのは、ほぼ毎年この業者というふうにはほぼ決まっている感じですか。

我謝館長　　昨年度と今年度の業者は代わっております。

高里主幹　　2、3年ほど前の業者とはまた代わっております。毎年入札によって決まります
ので、同じ警備会社ということではありません。

田端委員長　　業務委託をして当初契約をしたと、それがなぜ減額になったのか。予算の見積が
違ったのか、それとも予算が執行できなかったのか、疑問ですが、いかがなもので
しょうか。

我謝館長　　警備と受付業務委託については、この業界の過当競争でかなり予算額に対して競
争して低く抑えて落札をします。その代わりに警備の人たちの勤務形態によっては、

最低賃金が適用されないような適用除外というのを認めて、そして警備員の賃金を抑えて経費を削減するという傾向にあります。実は、この件は不勉強で2月の予算審議のときに初めて議員から指摘を受けて、予算の額も決まっていたのですが、当初その予算でも最低賃金は確保した積算でかけたのですが、入札の条件として、受託した業者はなるべく適用除外を受けないようという条件を付したのですが、やはり低く落札をして、あとでまた警備部分については適用除外を受けると。受付に関しては最低賃金は守られておりました。ですから、来年度の予算編成に関しては研究をして、最低賃金が守られるような入札のあり方を研究したいと思います。

田端委員長 よろしいでしょうか。では、議案第26号「平成22年度那覇市一般会計補正予算（12月補正）に関する意見の申し出について（壺屋焼物博物館関係分）」原案どおり決定してよろしいですか。

全 員 異議なし

田端委員長 議案第26号「平成22年度那覇市一般会計補正予算（12月補正）に関する意見の申し出について（壺屋焼物博物館関係分）」議決確定します。続きまして報告「平成22年度那覇市一般会計補正予算（12月補正）に関する要求について」説明をお願いします。

新城部長 報告説明

東恩納課長 説明

田端委員長 この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

有銘委員 平成22年度12月補正予算概要で、牧志・安里公民館の早期引渡しの件で、早期引渡しを受けることによって共益費の負担が増えるということがあると思いますが、早期引渡しをすること、それはその後の準備も含めてメリットがあるという判断でいいのか。要は業者の都合で早めに引渡しをして、こちらとしてはその後の準備もままならない先に引渡しを受けて、あとで間髪おかずにちょっと間を置いていろんな準備作業がある。早めに引渡しを受けるということが何かメリットがあったという判断なのかどうかという点をお聞きしたい。あと体育施設管理運営事業に関して、興南高校の映像という件がありますが、これは、映像の著作物というのは市が保有しているのか。それともどなたが保有している状態なのか。また、相手が私立の学校ということもあるので、その辺の映像の提供等々に関して、何らかの市としての持ち出しがあるのかどうか、お聞きしたいと思います。

東恩納課長 まず、牧志・安里公民館図書館の早期に引渡すということですが、元々地下部分に工事を予定していたものが要らなくなって、かなり工期が早まったということですので。たぶん、施工主側の事情による早めの引渡しと思いますので、工期は了解の上で早くなっていると思います。それから工期は完成したら検査をしてパッと引き渡すという義務がありますので、その検査に合格したら引渡しを受けないといけないというのが管理運営の中では当然そうだろうと思います。それから元々図書館公民館については7月ぐらいの開館をめどに準備を設定するというので、ちょっと早

く引き渡してもらっても、すぐ供用開始ということではなくて、準備のために下準備ができるということですので支障はないと思われま。興南高校の映像の件につきましては、興南高校に対する著作権がどうのこうのというのは、この中では設定していません。ただし、映像を持っているところ、例えばNHKとか、そこは著作権がありますので、その使う分については一定の費用負担がありまして、その方は積算しております。一般的に周知されているものですので、その学校に対する著作権使用料みたいな映像権というのは発生しないと思いますが、持っている撮った映像については、これを借用して使うということについては一定の支払いをするという形を想定しています。

有銘委員
新城部長

映像の中に朝日新聞社提供みたいなテロップがでてくるのでしょうか。

あると思います。NHKの映像を利用してという想定はされていますが、やはり著作権関係で著作権料を払っているということが出ています。結構高いです。より安くというような期待感がありましたが、実は10分ほどの映像時間で、700万円近くするだろうと。一つには製作をするための費用、例えば関係者からのインタビューを改めてやると、映像の著作権料とか、そうしますと思ったより高い費用になるということ想定しております。今回の12月補正で要求した理由の背景ですが、先の9月議会で興南高校の春夏連覇に対する称賛の声がものすごくあって、その中で議員の方から記念的に映像を独立的に作ってはどうかという質疑がございまして、これにいち早く応えています。したがって、要求はしていますけれども、どれだけ費用は圧縮されるかわかりませんが、これを実現したいと考えています。牧志・安里公民館図書館の件ですが、元々7月頃に開発全体のグランドオープンを予定していましたが、地下の工事関係がなくなった。したがって、工期が短縮されたということで、4月頃グランドオープンのセレモニーをやる予定で進めているようです。ところが、図書館公民館については7月までかかるというようなこともあって、そのタイムラグがありますけれども、そういった中で今回共益費の追加が生じたということです。

田端委員長

総合青少年課の方で補正要求することになっていますが、今年の夏以降、大変心を痛める事件がありました。これに対応するために例えば学校現場で研修をするとか、子供たちのメンタルなサポートをするとか、学校の先生方に対してなど、計画はないのでしょうか。例えばもう少し勉強会をするとか、学校に対応するためにこういうものがほしいとか、授業を楽しくするためにこういう研修の機会をつくりたいとか、何かそういうふうな方針ですか、そういうものが私はあってもいいかなと思うのですが、新たに予算を要求するまでのことではないのかなと思ったりもしますが、その辺りはいかがでしょうか。

城間教育長

ご質問の内容について、学校へ手当、県からも来ていただきまして、学校カウンセラーであるとか、臨床心理士とか、現在割り当てられた範囲内で今のところ手当をしているところです。具体的に今おっしゃった研修会とか、そういったものはま

た次年度の機会でやるとか、いろんな機会で組んでみたいとは思っておりますが、現在のところは今の状態で手当をさせているということです。

盛島部長

次年度以降、特に総合青少年課、いま委員長の話のとおり、生徒指導の課題はどんどん増えてきておりますので、これに対応していきたいということで、いま教育相談支援員を学校に2回から4回対応しているのですが、これをすべて4回は対応できるようにということでの実計要求は出しているところです。併せて生徒サポーターについて需要が増えて、充実させたいということでの要求は進めているところです。これはあくまでも予算要求ですので、私たちも評価していただくように努力はしていますが、そういう予算は取ることになっております。

新城部長

今回の予算要求について2点説明したいと思います。まず、歳出に1億2,430万3,000円となっておりますが、その内訳がここに記しているとおり、一部実計要求中、あるいは実計要求中というふうに書いている事業がございます。本来でしたら、この事業については先に教育委員会でも説明しましたけれども、実施計画の要求事項です。その実施計画要求額がかなり増えたということもあります。その中からもし低予算でつけられるものがあれば先取りして要求をしようということで、いわば変更的にいま要求している段階です。実際、まだ内定という内々の情報の中ですが、先程のスポーツトラクター購入というのがございます。これも実施計画ですから、型どおりいくと来年度の予算になるのですが、今回の補正でつくような気配が出ています。理由は推察ですが、来春は巨人軍のキャンプを控えており、芝生の養生のために整備するトラクターなので、そういったことも先取りした形で今回の補正で付くだろうというような見通しをもっております。箱物については、さすがに実計要求しても付くかどうか分からない事項ですので、それを先取りして補正予算で付けるというのは、改めて判断をしてもらえればいいことです。それが一つです。それからもう一つ、この1億2,430万3,000円で、この中で必ず付けないといけないというような経費がございます。これは義務的な経費と言っていますけれども、いわゆる扶助費です。先ほど小中学校の就学援助費がございました。小学校が3,368万1,000円、中学校4,055万6,000円の合わせて7,423万7,000円。この額は必ず付けないと子供たちの就学援助になりませんので、このことは財政課としても削られないと思います。これは先程の説明のとおり給食費の値上げにも絡んで予算要求せざるを得ないようになっておりますので、予算要求して対応したいと思っております。以上でございます。

田端委員長

では、報告「平成22年度那覇市一般会計補正予算(12月補正)に関する要求について」報告を了承したいと思っております。続きまして、議案第27号「平成22年度那覇市一般会計補正予算(12月補正)に関する意見の申し出について」説明をお願いします。

新城部長

提案説明

東恩納課長

説明

- 田端委員長　この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。
よろしいでしょうか。では、議案第27号「平成22年度那覇市一般会計補正予算(12月補正)に関する意見の申し出について」原案どおり決定してよろしいですか。
- 全　　員　　異議なし
- 田端委員長　議案第27号「平成22年度那覇市一般会計補正予算(12月補正)に関する意見の申し出について」議決確定します。続きまして、報告「平成22年度那覇市一般会計補正予算(9月補正)の確定について」説明をお願いします。
- 新城部長　報告説明
- 東恩納課長　説明
- 田端委員長　この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。
- 城間委員　特別支援教育充実事業でヘルパーの増員要求がありますが、特に小学校は大変だと思えます。ずっと付いておかないと危ない子供も増えてきています。学校から要求はさせていると思えますが、現時点でヘルパーが何名いて、今後何名増やそうと考えているのか。また現在、どのような対応をしているか教えてください。
- 盛島部長　現在、ヘルパーそのものは45名で、確か緊急雇用で4名やっているの、現在49名だと思えます。今回この108万円というのは、12月に切れる予定の緊急雇用の分の108万円は認められております。新規に要求した分については削除されております。要求は本来もっとあるはずなんです。私たちもぎりぎり5名はなんとか採用したいということでしたが、査定落ちということで大変残念に思っております。要求はかなりもっと多いと思われま。
- 城間教育長　では、どのような対応をしているかということですが、一部で1人の方に2校を掛け持ちしてもらったり、いま49名で工夫をしながら、この子の状況がよくなってきたから引き揚げて、この学校にという調整は担当の方で決めているようです。要求はとにかく時間を延ばしてほしいとか、人を増やしてほしいなど、現場からのそういう声が大きいです。我々も声をあげていきたいと思えます。
- 田端委員長　具体的に特別支援を必要とする人を認定されるんですか。この子供の数と言いますか、これに対して45名が少ないか多いかということが少し問題だと思えます。
- 盛島部長　申請はどんどん増えておりまして、今年の申請だけでも既に300名ぐらいきておりますので、これは単年度の申請ですので、その中ですべてのお子さんが必要ということではありませんが、少なくとも申請数を見た場合、ヘルパーが少ないという現状は言えると思えます。毎年、申請数は増えていくのですが、約300人の申請がありますので、判定してくださいという申請ですので、かなり多くのお子さんがあると言えるかと思えます。
- 田端委員長　授業参観に行きますと、担任の先生が1人で30名の子供をみていますが、そこに発達障害のお子さんがあると、なかなか他の生徒に集中できない現状もあるかと思うんです。ぜひ、皆さんも頑張ってください、私どもも声をあげていきたいと思うのですが、特別支援にかかわるサポートする人数をもっともっと増やしてい

ただいて、学級に1人ずつサポートする人たちを配属してもらいたい。ぜひ皆さんで声をあげていただきたい。私たちも声をあげていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

有銘委員 児童の支援というのは絶対必要というのは傍で見ていて痛感していたので、今回の補正でここがマイナス査定だったというのは、ちょっと残念だと思いますし、12月以降の補正でも、この補正が既定化してしまうといやだなという面もありますので、何とかできる限り確保してもらえればという願望に近いところです。

田端委員長 よろしいでしょうか。では、報告「平成22年度那覇市一般会計補正予算（9月補正）の確定について」報告を了承したいと思います。続きまして、協議「那覇市立学校適正配置計画素案の策定について」に関しては、前回同様、市立小中学校の具体的な学校名を挙げて協議を行うことが想定されています。そのため、公開の会議の場で、想定していない学校名などを挙げて協議を進めた場合の市民に対する影響は非常に大きいと考えられます。また、そのことによって、公正な審議が保てないことなどのことも考えられます。したがって、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項」の規定に基づき、非公開とすることが適当であると思われるので、その可否について委員の議決を図りたいと思います。

全 員 異議なし

田端委員長 議決により非公開としますので、関係者以外は退席をお願いします。

～ 非公開 ～

田端委員長 非公開を解きます。協議「那覇市立学校適正配置計画素案の策定について」は了承したいと思います。以上をもちまして、平成22年度第13回教育委員会会議を終了します。